

【南区】令和6年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和6年9月9日（月） 14時00分～14時50分
場 所	南区役所 7階 701～703会議室
出席者	<p>【座 長】高田修平議員</p> <p>【議 員：3名】仁田昌寿議員、渋谷健議員、遊佐大輔議員（オンライン出席）、</p> <p>【南 区：23名】高澤和義区長、濃野誠副区長、飯野真理福祉保健センター長、大塚貴司福祉保健センター担当部長、村上一徳土木事務所長、和田誠名南消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員17人</p>
議 題	<p>1 令和5年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について</p> <p>2 令和6年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>3 令和7年度 南区個性ある区づくり推進費の予算編成の考え方について</p>
発言の 要 旨	<p>議題1「令和5年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について」 議題2「令和6年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について」</p> <p>《副区長による説明》</p> <p>【高田議員】 説明が終わりましたので、質疑及び意見交換に入ります。 御発言のある方は いらっしゃいますか。</p> <p>【仁田議員】 令和5年の決算について、何点かの確認と今後につながるお考えを伺いたいと思います。 10ページの権利擁護推進事業ですが、一見すると難しい成年後見制度の普及に関して、長年に渡って個性ある区づくり推進費で取り組んでいただいているかと思いますが、その取組について、どのように評価しているか、また、どこまで市民・区民の皆さんにご理解をいただいているのか、お伺いしたいと思います。</p>

【加藤高齢・障害支援課長】

権利擁護支援事業は、制度自体非常に難しく、市民の方々には十分理解されていないと思っています。昨年度、「あなたの思いを大切に～成年後見制度」というわかりやすいリーフレットを作りましたので、それを使った普及啓発を進めていますし、今年度も成年後見制度に関する講演会等を計画しておりますので、一足飛びに理解されることは難しいと思いますが、引き続き普及啓発をしてまいりたいと思っています。

【仁田議員】

ご努力いただいている経過については、これまでもずっと伺っていますが、これからの高齢社会では、制度のニーズが間違いなく増えていくのに、制度を使う側の認識が高まっていないという課題に挑戦していただいているのかと思います。

ところで、土業の皆さんとの連携は、どのようになっていますか。

【加藤高齢・障害支援課長】

弁護士と司法書士、行政書士の皆さんとは、年4回、連絡会を開催しており、意見交換を実施しています。その中でも、土業の皆さんの意見を聞きながら、啓発普及を進めていきたいと思っています。

発 言 の
要 旨

【仁田議員】

12 ページの減災対策支援事業では、先ほど副区長から減のご説明がありましたが、家具転倒防止並びに感震ブレーカー補助金の申請減という、あまり好ましくない結果だったと思います。とりわけ感震ブレーカーの補助申請については、自治会町内会向けは0件で、個人向けの52件も多いのか少ないのか、どのように評価されているのか見解があれば伺いたいと思います。

【伏見総務課長】

感震ブレーカーの補助事業の課題の1つとして、認知度が低いというところがありますが、特に、今年度は市の自治会町内会向けの補助が拡大いたしました。これに伴い、区の自治会町内会向けの補助も全域に拡大されましたので、区連長会等で説明会を実施するとともに、連合町内会の中での周知を5月に依頼しました。併せて、6月には個別説明会を実施した結果、現在のところ、3団体89件の申請があり、認知度は少しずつ伸びているのかなと思っています。

【仁田議員】

年々歳々、防災減災対策の意識を高めていくことが必要であり、粘り強

い取組をお願いしていかないといけないと思いますので、今後ともよろしくをお願いします。

令和6年度の進ちよくを伺いたいのは、29ページの「障害者の地域生活支援事業」の中にある4月開始の新規事業である現状の調査分析。これは障害者の運動の機会や健康づくりが今どうなっているのか、そして、今後どのような施策が必要なのかという分析ですよね。現在の進ちよくはどんな状況でしょうか。

【加藤高齢・障害支援課長】

進ちよく状況ですが、この調査は横浜市リハビリテーション事業団に委託をしております、5月からヒアリング調査を開始しています。これはすべての事業所を訪問して、現状把握を分析することなので、調査終了が11月の予定です。また、委託事業者から報告書が提出されるのが3月ということで、1年間かかってしまいますが、途中経過の報告もいただきながら、次年度の事業を考えていきたいと思っております。

【仁田議員】

ありがとうございました。またその時に伺えればと思います。

続いて35ページの3R推進事業ですが、プラスチックの新たな分別が、南区は来年度から、9区では10月から始まるということですが、啓発の状況はどのようになっているのか伺っておきたいと思っております。

【堀資源化推進担当係長】

まず、南区の場合は令和7年4月から分別拡大が始まります。そのため下半期から分別拡大の啓発を重点的に進めていく計画になっております。まず、令和6年10月から12月にかけて、区内16地区のすべての連合町内会の定例会において、説明に出向くとともに、希望のある自治会町内会、その他の団体に出向いて住民説明会を開催する計画となっています。また、分別拡大の直前の令和6年度末には、資源物の分別拡大の説明冊子を全戸に配布するとともに、2月の「広報よこはま」でも周知を行う計画です。

【仁田議員】

すでに10月から始まる前半区9区での取組も十分に参考にして、今の内容で淡々と進めていくことかと思いますが、その周知内容で大丈夫でしょうか。

【堀資源化推進担当係長】

はい。令和7年4月からの分別拡大を円滑にしっかりできるよう進めて

発言の
要旨

いきたいと思います。また、前半区が 10 月から分別拡大が始まりますので、そこでの状況も情報収集しながら周知を進めていきたいと思っております。

【仁田議員】

そこは連携をお願いします。とりわけ心配な点は、先日もある事業者とお話ししたときに、衝撃によって発火する恐れのあるリチウムイオン電池のような物が、プラスチック製品に組み込まれていて、それを理解して外す人はいいのですが、外さないでそのまま排出してしまうケースがどうしても出てくるということを非常に心配されておりました。パッカー車が発火したら大変だし、いろいろなところに影響を与えてしまい、あとあと大変なことになるのではとの懸念をお持ちでしょうか。

【堀資源化推進担当係長】

はい。今後の地域に出向いての啓発や広報よこはまでの啓発の中でも、そういった点について周知を行ってまいります。

【仁田議員】

ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

発 言 の
要 旨

最後に一点。39 ページの「地域の力応援事業」ですが、どこの自治会町内会でも、役員のなり手不足や組織率などの問題、現場の組長さんたちの中では、労力がかかって心が折れそうだというお声も伺います。そういう状況に対して、今後どうするのかというのが大きな課題だと思いますが、その取組について何かお考えがありますでしょうか。

【中野地域振興課長】

全市的に担い手不足ということが課題となっております。南区も他区と同じように、担い手がないと聞いております。ただ一方で、若い方が自治会の活動に参加しているというような声も聞いております。今回、地区懇談会において、自治会町内会館の利用について議題とした地域があり、引き続き課題の深掘りをしていきたいというご意見がありましたので、「地域の力応援事業」の中にある課題解決型の補助金を使って支援していく予定です。なぜ会館の利用が担い手の不足等につながっていくのかということですが、会館利用にあたっては、今は予約制を採っているのですが、管理する自治会町内会の負担がものすごく大きいということなので、ICTを使った簡単な方法があれば、少しは役員の負担軽減になるのではないかということが一つ。もう一つは、自治会町内会館が一定の人にしか使われておらず、もっと多くの方に使っていただく、例えば、雨の日にお子様を連れて遊ぶ場所としても使ってもらえないかというようなことを今

後検討し、まだ自治会町内会に入っていない方に、まず加入していただくことから始めていきたいと思っております。

【仁田議員】

そのような「いい事例」について、会長さんたちの意見交換会はあるのですか。

【中野地域振興課長】

今年度、これまでもやっていた地域の事例発表会の第二部として、自治会町内会長さんたちがお互いに意見交換できる場を作ることを計画しております。

【渋谷議員】

前回の会議の時に、桜まつりの開催と桜の咲く時期がずれてしまったという話がありました。23ページを見ると、次回の日程はすでに決まったようですが、開催期間を柔軟に対応できるような検討をされたのですか。

発言の
要旨

【中野地域振興課長】

9月3日に実行委員会がありまして、今年度と同じくらい桜の開花が遅れてしまった場合は、1週間程度、まつりの期間を延長できる方向で調整しております。

【渋谷議員】

許可はどこがするのですか。区ですか。警察ですか。

【中野地域振興課長】

ぼんぼりについては区です。

【渋谷議員】

出店者についてはどうしようもないのですか。

【中野地域振興課長】

出店者については、土木事務所と警察の許可が必要です。これからの調整になりますが、例えば、許可期間を少し長めにして、その間の何日間で出店をするというようなことができないか、関係機関と調整していきたいと思っております。

発言の
要旨

【渋谷議員】

出店者は次の予定があるのでしかたがないですが、せめて、ぼんぼりの点灯期間については区で調整していただきたい。それと、トイレの設置はどうか。

【中野地域振興課長】

トイレは、区が設置するほか、露天商の方が出店している間はトイレを設置していただく約束になっています。

【渋谷議員】

では、露天商の出店が終わったらどうなるのですか。

【中野地域振興課長】

出店が終わったら、トイレは公共のものか、元々プロムナード沿いにある常設のトイレを使っただけになります。

【渋谷議員】

臨時のトイレっていうのは、出店者が設置したのですか。

【中野地域振興課長】

そうです。

【渋谷議員】

そうなのですか。

【中野地域振興課長】

やはり、露天商が出ている間に一番トイレが使われるということなので。

【仁田議員】

災害時に最も必要なのが水とトイレだと、どこで起きた災害でも言われています。このような場面で簡易トイレの使い方を共有できる場を作れないですか。実際に使ってみるとか、簡易テントを広げてみるとか。要するに災害訓練ですよ。

【中野地域振興課長】

まつりの時にとのことですか？

【仁田議員】

そうです。

【中野地域振興課長】

これから出店者を募りますので、例えば災害のブースとか行政のブースなどがあれば、そういった啓発もできるかなと思います。

【仁田議員】

出店者側は無理だと思うので行政主体の防災訓練。簡易トイレを使ったことある人は、私が行った防災訓練のところではほぼゼロでしたが、うちの町内会では、子どもたちが1泊でそういう訓練をして、簡易トイレも使ったりします。そういうことを試す場がないと、いざという時に使えずに混乱するのではないかと。

【伏見総務課長】

能登半島地震の場合でも、トイレが一番の問題になっており、聞いたところでは、きちんと最初に簡易型のトイレを使っていれば、トイレが溢れることもなく処理ができたのに、使い方がわからないためにひどい状況になったとのことなので、本当に場面場面で、簡易トイレを含めた使い方を周知することが大事であり、実際に使ってみないとだめなので、特に地域防災拠点で訓練をしていきたいと思います。

【高田議員】

2ページの予算の執行状況（5年度決算）ですが、物価高や燃料価格の上昇ということで、（区庁舎・区民利用施設管理費が）544万円のマイナスになったと先ほど伺いましたが、主に区庁舎等で一番の赤字となった要因と、一方で南ラウンジは予算・決算額がほぼ同額だと思いますが、この違いについて教えていただければと思います。もう一点ですが、今後赤字が膨らむと見越しているのか、管理費や委託についてどのような展望をお持ちでしょうか。

【伏見総務課長】

主にこのマイナスは、電気代の超過が非常に大きかったもので、基本的

には今後の対応について市民局にお願いしています。この部分のマイナスについては、令和5年度決算で言うと、年度途中で非常に大きなマイナスが想定されましたので、区づくり推進費全体の対応として、自主企画事業の予算残などでこのマイナス部分を埋めた結果、540万程度のマイナスで済んでいるという状況でございます。

【高田議員】

今後予算を編成するにあたって、管理費が膨らんで行くことを見越して、予算を確保していくということによろしいでしょうか。

【伏見総務課長】

特に電気代の予算確保はお願いしたいのはもちろんありますが、経費がかかってしまうのは、いたしかたないところではあります。本来であれば、自主企画事業の約1億円は、自由度がある区の独自の予算として使うものですので、電気代の赤字については、市民局と調整しながら、ぜひ確保をお願いしたいというのが区としての気持ちです。電気代が上がっていますので、なかなか難しいところではありますが、電気使用の節約も含めて考えています。

【高田議員】

なかなか区の努力だけでは、難しいということによろしいでしょうか。

【伏見総務課長】

そうですね。繰り返しになりますが、電気の節約について努力することは当然大前提ですが、特にこの猛暑となると、なかなか難しい部分であるので、通年努力をするということと、これは南区だけの問題ではないのですが、電気代のマイナスについて、市民局と調整をしながら対応していきたいと考えています。

【高田議員】

14ページに「放置自転車対策事業」における自転車マナーアップ監視員業務委託料の入札残とありますが、区内8駅に配置されたマナーアップ監視員という方々は、主にどのような権限を持って、どのような業務を行っているのかを教えてくださいませうでしょうか。

【中野地域振興課長】

権限というものは無いのですが、放置されている自転車何日間以内に動かしませうよという警告の赤いテープを貼っていただいています。お願いベースにはなりますけども、そこは止めないでくださいというようなお声が

けをしていただいています。

【高田議員】

区内の鉄道8駅とありますが、駅によってはきちんと駐輪場に止めて、マナーを守っていただいている方が多い反面、例えば、南太田駅だと駅の近くに止めるのではなくて、おそらく富士スーパーのところ止める方がいらっしゃると思うのですが、監視するのは駅周辺ということでよろしいのでしょうか。

【中野地域振興課長】

駅から何メートルというように明確には決まっておきませんが、監視員の方々は、大体この辺に止めてしまうということがわかっておりますので、その周辺を見てもらっています。

【高田議員】

イタチごっこで、ずっと取り組んでいただいていることだと思いますので、引き続きお願いしたいのですが、南太田駅やその近くでも、ステッカーを貼ったり、撤去のお知らせのため車で何回も回って、ずっと放置防止の普及啓発活動をしていると思うので、実効性のある取組と抱き合わせて行っていければいいと思っておりますが、何かお考えはあるのでしょうか。

【中野地域振興課長】

来年度からこの事業は、全部道路局の事業になってしまいますが、道路局とも調整しながら、区の状況を逐一伝えながら、どういった方法が一番いいのかを一緒に考えていきたいと思っております。

【高田議員】

ぜひよろしくお願ひします。ありがとうございます。

議題3 「令和7年度 南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方について」

【高田議員（座長）】

次に「(3) 令和7年度南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方」についてのご説明をお願いいたします。

《区長による説明》

【高田議員（座長）】

ありがとうございます。説明が終わりましたので、質疑及び意見交換に入ります。ご発言のある方はいらっしゃいますか。

【仁田議員】

令和6年度も5年度も、「誰もが住み続けたい、子育てしやすいまちづくり」だったのが、7年度になって「子育てしやすく、誰もが住み続けたいまちづくり」と順序をひっくり返して、強調するところを変えていますが、何か意味はあるのですか。

【高澤区長】

そんなに大きく思いがあるという訳ではないのですが、子育てということをキーにしながら、子育て世代が住みやすいまちというのは、高齢者も障害者も住みやすいまちであるので、子育てを前に出したものです。しかも、いつまでも住み続けたい南区であるという、そういった思いを込めて、今回ひっくり返らせていただきました。

【仁田議員】

わかりました。

【高田議員】

他に発言がないようですので、この程度にとどめたいと思います。以上、本日の議事は終了いたしました。